



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長

(氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,256	4.8	260		255	9.9	311	577.6
2023年3月期第1四半期	6,923	31.7	253		232	15.2	45	53.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 318百万円 (509.7%) 2023年3月期第1四半期 52百万円 (42.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	145.58	
2023年3月期第1四半期	21.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	19,629	4,938	25.2
2023年3月期	20,051	4,621	23.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,938百万円 2023年3月期 4,621百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,161	1.8	360		354		291		136.14
通期	27,996	2.0	531		513	106.9	368		172.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	2,139,434 株	2023年3月期	2,139,434 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,913 株	2023年3月期	1,806 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	2,137,615 株	2023年3月期1Q	2,137,801 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行等に伴い個人消費をはじめ経済活動の正常化が進みましたが、ウクライナ情勢の長期化、円安、世界的な物価上昇等不安定な状況は続き、先行きが不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症への警戒感が薄らぎ、客足や売上は回復傾向にあるものの、物価上昇に対する消費者の生活防衛意識は依然強く、原材料価格やエネルギーコスト等の高騰、人材不足等の状況の中、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」の商品提供を堅持するとともに、コロナ禍を経て変化した消費者の意識・行動を的確にとらえ、収益力を維持向上させていけるよう、商品開発や販売促進、オペレーション改善にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高72億56百万円（対前年同期比4.8%増）、営業利益2億60百万円（前年同期は営業損失2億53百万円）、経常利益2億55百万円（対前年同期比9.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億11百万円（対前年同期比577.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の「安楽亭業態」、「七輪房業態」、「アークミール」及び「その他業態」から、「安楽亭・七輪房業態」、「アークミール業態」及び「その他業態」に変更し、共通費の集計及び配賦方法を変更しております。当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、セグメント変更後の区分に基づいております。

#### ① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は179店舗であります。内訳は直営126店舗、暖簾16店舗、FC37店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」にて、素材の特長を生かす「自然肉」の美味しさと価値を消費者にダイレクトに伝える新メニュー「ワイルドシリーズ」として、「ワイルドカルビ」及び「ワイルドローズ」に続き、4月に「ワイルド上タン」を販売開始しました。「ワイルドシリーズ」については、安楽亭創業60周年記念大皿「煌き（きらめき）」等により積極的に販売訴求してまいりました。その一方で、メニューの価格レンジを拡大してより幅広いニーズにこたえるため、税込み500円の「ワンコインランチ」の販売を再開いたしました。

さらに、ディナーの時間帯の来店を促進する施策として20時以降来店のお客様限定で生ビールやカルビ等をプレゼントする企画を行ったほか、お客様からの多数のご要望を受け、「牛タンシチュー」等の往年の人気メニューの復活販売等を実施しました。

「七輪房」では、ゴールデンウィーク特別メニューとして上タンや黒毛和牛を華やかに盛り合わせた「人気部位満喫盛り」を販売する等、七輪房の多様で上質な肉の魅力アピールするフェア施策を実施してまいりました。さらに、ディナー時間帯の来店促進として「20時以降来店のお客様限定 生ビール20%OFFクーポン」、春の入学シーズンに「春の学割クーポン」を配信する等、ニーズや時節に合わせた施策を実施しました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は29億53百万円（対前年同期比5.8%減）となり、セグメント利益（営業利益）は37百万円（前年同期はセグメント損失87百万円）となりました。

## ② アークミール業態

アークミール業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は131店舗であります。内訳は直営129店舗、FC2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス」の各業態において「母の日ウィーク」「父の日ウィーク」としてお肉やデザートのパレートのクーポン配信、日替わりランチメニューへのポークグリル新規導入（ステーキのどん）、土日祝限定のお寿司やデザートをしゃぶしゃぶとあわせて楽しめる「スペシャルランチ膳」（どん亭）の販売等、積極的に来店促進の施策を展開してまいりました。

以上の結果、アークミール業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は41億71百万円（対前年同期比13.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は3億26百万円（前年同期はセグメント損失48百万円）となりました。

## ③ その他業態

その他業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は7店舗であります。内訳は直営5店舗、FC2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「上海菜館（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億31百万円（対前年同期比12.2%増）となり、セグメント損失（営業損失）は5百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ4億22百万円減少し、196億29百万円となりました。これは、売掛金の減少、原材料及び貯蔵品の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ7億39百万円減少し、146億90百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少、長期借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ3億17百万円増加し、49億38百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しております。詳しくは、2023年8月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,597,664	2,726,288
売掛金	1,310,690	1,030,959
商品及び製品	622,297	621,124
仕掛品	5,330	7,651
原材料及び貯蔵品	1,096,972	867,436
前払費用	456,027	572,425
その他	115,636	55,961
貸倒引当金	△4,917	△4,917
流動資産合計	6,199,701	5,876,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,153,797	3,088,874
機械装置及び運搬具(純額)	58,982	54,821
工具、器具及び備品(純額)	379,839	381,445
土地	6,080,942	6,080,942
リース資産(純額)	80,138	73,911
建設仮勘定	23,154	12,056
有形固定資産合計	9,776,855	9,692,052
無形固定資産		
のれん	12,133	9,100
その他	533,838	533,333
無形固定資産合計	545,972	542,434
投資その他の資産		
投資有価証券	150,809	154,434
長期貸付金	1,885	1,380
長期前払費用	85,575	81,995
繰延税金資産	165,834	198,704
敷金及び保証金	3,123,744	3,080,006
その他	27,998	27,792
貸倒引当金	△26,721	△26,701
投資その他の資産合計	3,529,126	3,517,612
固定資産合計	13,851,954	13,752,098
資産合計	20,051,656	19,629,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940,679	825,475
短期借入金	3,622,200	3,622,200
1年内返済予定の長期借入金	1,492,056	1,449,108
リース債務	36,693	31,289
割賦未払金	301,804	288,813
未払金	321,709	296,173
設備関係未払金	67,650	31,072
未払費用	823,397	863,247
未払法人税等	100,338	41,553
未払消費税等	447,450	335,852
賞与引当金	156,200	156,160
資産除去債務	7,782	300
その他	422,138	367,264
流動負債合計	8,740,100	8,308,510
固定負債		
長期借入金	4,448,644	4,218,958
リース債務	115,089	108,112
長期割賦未払金	650,943	583,332
繰延税金負債	185,180	186,279
役員退職慰労引当金	142,370	145,627
退職給付に係る負債	441,669	436,642
資産除去債務	351,974	352,112
その他	354,374	350,815
固定負債合計	6,690,246	6,381,880
負債合計	15,430,346	14,690,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,472,098	2,472,098
利益剰余金	△1,052,073	△740,868
自己株式	△10,349	△11,103
株主資本合計	4,592,061	4,902,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,815	22,342
為替換算調整勘定	11,434	15,844
退職給付に係る調整累計額	△2,002	△2,061
その他の包括利益累計額合計	29,248	36,125
純資産合計	4,621,309	4,938,636
負債純資産合計	20,051,656	19,629,028

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	6,923,135	7,256,427
売上原価	2,612,921	2,740,949
売上総利益	4,310,213	4,515,477
販売費及び一般管理費	4,563,499	4,254,562
営業利益又は営業損失(△)	△253,285	260,915
営業外収益		
受取利息	916	339
受取配当金	1,752	1,815
受取地代家賃	11,747	12,194
助成金収入	499,718	—
その他	7,206	12,015
営業外収益合計	521,341	26,365
営業外費用		
支払利息	32,889	29,390
賃貸収入原価	1,608	1,635
その他	1,021	723
営業外費用合計	35,519	31,749
経常利益	232,535	255,532
特別利益		
受取保険金	—	2,376
受取補償金	—	100,000
特別利益合計	—	102,376
特別損失		
固定資産除却損	0	2,481
減損損失	96,462	8,801
賃貸借契約解約損	76,508	3,025
特別損失合計	172,971	14,308
税金等調整前四半期純利益	59,563	343,601
法人税、住民税及び事業税	62,205	65,236
法人税等調整額	△48,569	△32,839
法人税等合計	13,636	32,396
四半期純利益	45,927	311,204
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,927	311,204



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	45,927	311,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,117	2,526
為替換算調整勘定	7,703	4,409
退職給付に係る調整額	△341	△58
その他の包括利益合計	6,244	6,877
四半期包括利益	52,171	318,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,171	318,081

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	3,136,049	3,669,942	117,143	6,923,135	6,923,135	—	6,923,135
外部顧客への 売上高	3,136,049	3,669,942	117,143	6,923,135	6,923,135	—	6,923,135
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,136,049	3,669,942	117,143	6,923,135	6,923,135	—	6,923,135
セグメント損失 (△)	△87,733	△48,774	△6,491	△142,999	△142,999	△110,285	△253,285

(注) 1. セグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭・七輪房業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては39,185千円であります。

「アークミール業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては57,277千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	2,953,776	4,171,197	131,453	7,256,427	7,256,427	—	7,256,427
外部顧客への 売上高	2,953,776	4,171,197	131,453	7,256,427	7,256,427	—	7,256,427
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,953,776	4,171,197	131,453	7,256,427	7,256,427	—	7,256,427
セグメント利益 又は損失(△)	37,769	326,167	△5,220	358,717	358,717	△97,801	260,915

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの経営管理及び事業実態に合わせた損益管理を行うため、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「安楽亭業態」「七輪房業態」「アークミール」「その他業態」から、「安楽亭・七輪房業態」「アークミール業態」「その他業態」に変更し、共通費の集計及び配賦方法を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アークミール飲食店事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては8,801千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2023年7月21日開催の取締役会において、次のとおりのシンジケートローン契約による資金の借入を行うことを決議し、資金の借入を実施しました。

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| (1) 資金用途          | 今後の事業展開を見据えた運転資金         |
| (2) アレンジャー兼エージェント | 株式会社みずほ銀行                |
| (3) ジョイント・アレンジャー  | 株式会社商工組合中央金庫、株式会社埼玉りそな銀行 |
| (4) 参加金融機関        | 株式会社横浜銀行他、計5金融機関         |
| (5) 借入金額          | 847,000千円                |
| (6) 借入金利          | 変動金利                     |
| (7) 借入実行日         | 2023年7月31日               |
| (8) 返済期限          | 2028年7月31日               |
| (9) 返済方法          | 元金均等返済                   |
| (10) 担保・保証の有無     | 無                        |